

「平成 26 年度住まい改修アドバイザー研修会」記録

開催日時 平成 27 年 3 月 17 日(火) 13:00～16:10

会場 三重県勤労者福祉会館 6 階講堂 (津市栄町 1-891)

主催 三重県県土整備部住宅課

受講者数 45 人

内容・進行

(1)開会・挨拶 (13:00～13:10)

三重県 県土整備部 住宅課長

(2)講演「住宅修復の技法と対応—能登半島地震の復興記録から—」 (13:10～14:40)

講師：むとう設計有限会社(金沢市) 武藤 清秀 氏

休憩(14:40～14:50)

(3)講演「火災保険と地震保険」 (14:50～15:40)

講師：一般社団法人日本損害保険協会 村上 昇 氏

(4)(情報提供)「住まいのバリアフリー化について—ユニバーサルデザインの観点から—」

(15 : 40～16 : 00)

三重県 健康福祉部 地域福祉課

(5)(事業説明)住まい改修アドバイザー登録および報告について (16:00～16:10)

三重県 県土整備部 住宅課

アンケートについて

回答者数 38 名(回答率 84%)

集計結果については別紙のとおりです。

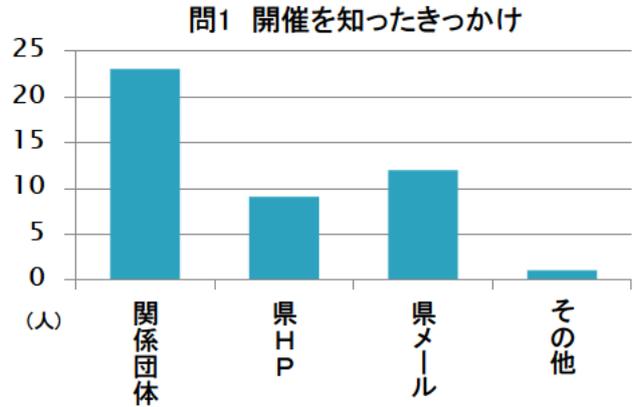
開催風景



(別紙)平成 26 年度住まい改修アドバイザー研修会 アンケートの集計結果

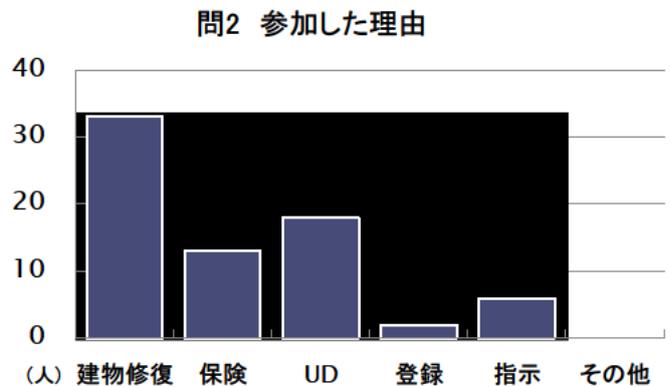
問 1 当研修会をの開催をどのようにお知りになりましたか。(複数回答)

本研修の周知にあたっては、建築関係団体(三重県建設労働組合、三重県建築士会、三重県建築士事務所協会)にご協力いただいたことから、これらの団体の会報等を通じて開催を知った方が最も多くなりました。



問 2 研修会に参加した理由をお聞かせください。

建物修復に関心を持っておられる方が大半を占めました。また、ユニバーサルデザイン(UD)について関心を持っておられる方も約半数でした。



問 3 『住宅修復の技法と対応』の理解度

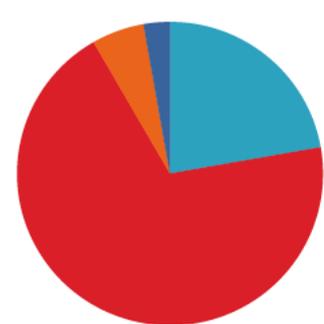
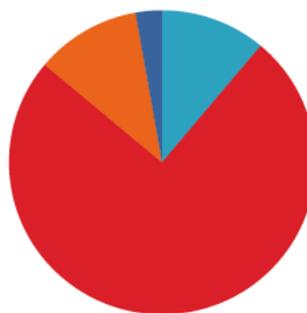
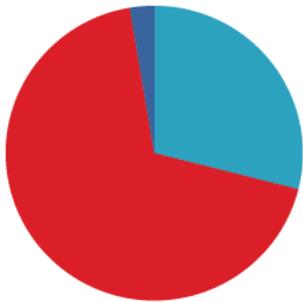
問 4 『火災保険と地震保険』の理解度

問 5 『住まいのバリアフリー化について』の理解度

問3 住宅修復の技法と対応

問4 火災保険と地震保険

問5 ユニバーサルデザイン



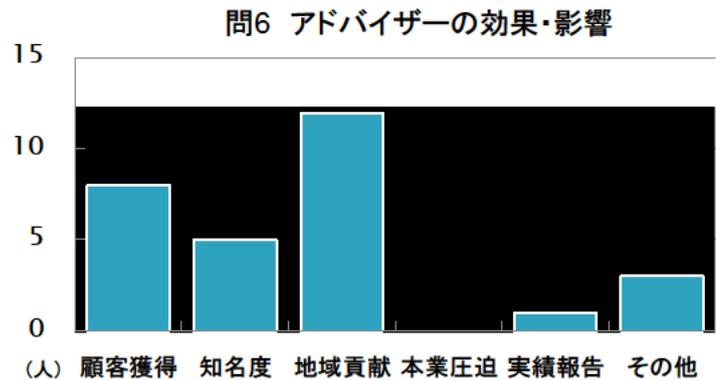
■ 理解した ■ 概ね理解
■ 理解できず ■ 関心なし

各講師とも工夫を凝らした説明をしていただきましたが、建物修復に関心を持って受講された方が多かったことから、その理解度・満足度も高くなりました。

問 6 アドバイザー登録をしていることで、本業への効果・影響はありますか。

「アドバイザーの活動を通じて地域に貢献できる」という方が多く、地域のボランティアとして活動する意欲の高い方が多くいらっしゃいます。

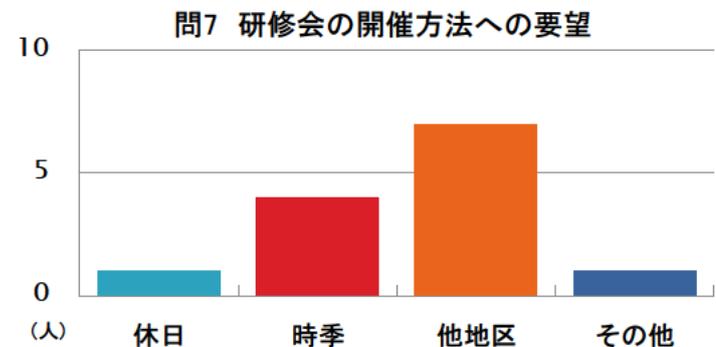
また、活動を通じて顧客獲得につながるとの意見もあり、本業にもプラスになる場合があるようです。



問 7 研修会の開催方法について、ご要望をお聞かせください。

他地区(主に北勢地区、伊勢地区)での開催を希望する方、開催時期の変更を希望する方が一部いらっしゃいました。

次年度以降の研修会の参考とさせていただきます。



問 8 その他意見・要望等(抜粋)

- ・ 地震保険について、東日本大震災の生々しい実情をもっと聞きたかったが、時間がなく残念。
- ・ ユニバーサルデザインの話はかなりおもしろかった。内容の濃い講習があるとよい。
- ・ 内容を一つに絞り、2時間程度で終わる講習を増やしてほしい。
- ・ 受付確認の連絡がほしい。また、開催直前に確認の連絡がほしい。